

資料 1-5 : メガネサナエ

関東地方整備局 長野国道事務所

メガネサナエに関するヒアリング結果について

- ・ ヒアリング対象：長野県農業大学校 農学部総合農学科 教授 福本匡志先生
- ・ ヒアリング日時：平成 29 年 7 月 6 日（木）13：00～13：35
- ・ ヒアリング場所：長野県農業大学校
- ・ ヒアリング担当：株式会社ドーコン 工藤晃央、山口珠輝
- ・ ヒアリング結果：以下のとおり

質問	回答
メガネサナエの生態特性について	<ul style="list-style-type: none"> ・ メガネサナエの成虫は諏訪湖で羽化するが、成虫は川をさかのぼって川で産卵するという特徴がある。 ・ 幼虫期は 2～3 年であり、泥の中に潜って生活していると思われる。
メガネサナエの成虫の出現時期について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 諏訪湖における成虫の羽化は 7 月上旬くらいから始まる。 ・ 川をさかのぼったオス成虫は 8 月中旬～9 月にテリトリーを形成する。そこでメスと交尾し産卵する。
メガネサナエの分布・個体数について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近年減少が著しく、長野県レッドリストで絶滅危惧 I B 類（EN）に区分されている。 ・ 個体数は非常に減っており、確実な産卵場所は 1 箇所（調査区域外の諏訪湖に流入する河川の中流域）しか把握していない。 ・ 昔は岡谷側の湖岸でも成虫の記録があったが、最近の確認されていない。 ・ 減っている理由はよくわかっていないが、幼虫が外来魚のブラックバスなどに食べられたりしているのかもしれない。
メガネサナエの調査時の留意点について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 成虫は少し小振りのミヤマサナエとちょっと似ており、個体数も多いので注意すること。 ・ 諏訪湖の護岸などで羽化殻が見つかると思うが、羽化殻も随分減っていると聞いている。